

不足が 財産？

こころの ぽけっと

「お金がない」「時間がない」「私には運がない」といつも嘆いている方がいるものです。もし、お金がいっぱいあったら幸せになれたり、時間がいっぱいあったら何でも可能になるのでしょうか。多分、アイデアが出てくるのはお金が足りない時であり、時間が足りない時にスピード感が出て、工夫が生まれるような気がします。日本は、世界有数の勤労意欲の高い国なはずですが、資源のない国だからです。原油が出る国は、税金ゼロ、教育費ゼロ、医療費ゼロで逆にお金ももらえるような環境の中では、勤労意欲が湧くはずはありません。多分、お金のある生産国特有の悩みでしょう。社会主義国も、勤労意欲の低下で行き詰まったはずで、お金がないことで、アイデアを出し、時間がないことで工夫が生まれ、スピード感が付いて、仕事が進みます。進み、仕事に、人生に生きがいややりがいが出てくるというものでしょう。

飯館村は、原油国でも社会主義の村でもありません。したがって、村の先人は厳しい状況の中で一生懸命働いて、このふるさとを少しずつ住みよい村にしてくれたはずで、その村を引き継ぐ私たちが、この想定外の状況の中で、商工業や農業に関わらず「もう一度、がんばってみよう」と手を上げていただく方がほとんどになっています。その心意気に頭が下がりますし、うれしくもあり、誇りでもあります。今のこの大変な状況を「私たちの財産」にしていくというような考え方にしたいものです。

平成29年8月18日 飯館村長 菅野 典雄

●ひとかたるものがたり ● 第6回 荒利喜さん (飯樋町)



荒商店を営む傍ら村酒販店会の代表を務めています。村消防団の団長を平成28年に退任。現在は復興団体のさまざまな活動に携わっています。

震災時は消防団の団長を務めていて、村の災害対策本部に詰めていました。燃料や水の問題に対処して、無我夢中の毎日でした。避難をしたのも最後の方でしょう。避難してからも、村内のパトロールに通いました。その年は火災も多くて、消防団の団員にはよく頑張ってもらいました。平成26年には、村内で消防操法大会も開催できましたし、団の皆には本当に世話になり、今も感謝しています。

村の特産品として開発した「おこし酒」は、誕生から30年が経ちました。「村にお越しく

「お金がない」「時間がない」「私には運がない」といつも嘆いている方がいるものです。もし、お金がいっぱいあったら幸せになれたり、時間がいっぱいあったら何でも可能になるのでしょうか。多分、アイデアが出てくるのはお金が足りない時であり、時間が足りない時にスピード感が出て、工夫が生まれるような気がします。日本は、世界有数の勤労意欲の高い国なはずですが、資源のない国だからです。原油が出る国は、税金ゼロ、教育費ゼロ、医療費ゼロで逆にお金ももらえるような環境の中では、勤労意欲が湧くはずはありません。多分、お金のある生産国特有の悩みでしょう。社会主義国も、勤労意欲の低下で行き詰まったはずで、お金がないことで、アイデアを出し、時間がないことで工夫が生まれ、スピード感が付いて、仕事が進みます。進み、仕事に、人生に生きがいややりがいが出てくるというものでしょう。

飯館村は、原油国でも社会主義の村でもありません。したがって、村の先人は厳しい状況の中で一生懸命働いて、このふるさとを少しずつ住みよい村にしてくれたはずで、その村を引き継ぐ私たちが、この想定外の状況の中で、商工業や農業に関わらず「もう一度、がんばってみよう」と手を上げていただく方がほとんどになっています。その心意気に頭が下がりますし、うれしくもあり、誇りでもあります。今のこの大変な状況を「私たちの財産」にしていくというような考え方にしたいものです。

老いも若きも集まってできる、地域のコミュニティにとって大切なものです。そして完成させるには、多くの人の協力が欠かせません。お囃子・着付け・世話係：たくさん協力があったら、一つの踊りが完成します。物事は成り立ちの過程こそが大切なのでと伝えたい、理解を深めてほしいと、年数を重ねました。何を言うにしても、過程が大切なです。

そして今年も、復興有志の会で、盆踊りを復活させました。協力してくれた皆さんに心から感謝しています。避難して6年間、子どもや孫が来ても、お線香をあげて帰るだけだったでしょう。今年は、せっかくだからと、盆踊りを見に来てくれた。一緒に踊ってくれた。また来たいと言ってくれた。そんなように車をイスのお年寄りまで見に来てくれた。そこに、子どもも年配者も交流できる輪ができます。先祖を供養し、先人の思いを伝える盆踊りを大事にしたい。ご先祖あつての今だから、いろいろな考えがあるだろうが、自分は故郷を思う姿を、これから見せていきたいです。

心も自分も大切に。

おしえてくんちえ！堀先生

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

相談 一度暗くなったり落ち込んだりすると、なかなか立ち直ることができません。

堀先生

ある紛争地帯に出かけて研修を行った心理学の専門家が、その場に怒りが満ちていることを感じました。現地の人から「憎しみについてはどうすればよいでしょうか」という質問を受けたそうです。まず、「憎しみが去ることはないかもしれませんが」と答えました。心が深い傷を負った直後には、それに安易な意味を与えられ、慰められることを侮辱のようにとらえる人もいます。その上で、「自分の健康に気をつけること、他の人とつながること、心について学ぶ場に参加すること」などを通じて、心の憎しみ以外の部分を強くすることを勧めたそうです。



精神科医 堀 有伸 先生
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
巻野 杏 友 ちゃん	公洋・智恵美	伊丹沢
村上 陽 祐 くん	誠・智子	上飯樋
佐藤 一 虎 くん	研太・つばさ	伊丹沢

すくすくと元気に育ってね



ひとのうごき

(平成29年7月31日現在)

人口	今月 (前月比)
男	2978人 (-2)
女	2999人 (-11)
計	5977人 (-13)
世帯数	1807戸 (+1)

7月1日～31日までの
◆◆人口動態◆◆

転入	2人
転出	12人
出生	6人
死亡	9人

(住民基本台帳人口)



おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 眞砂子	86	前田
佐藤 庄太郎	85	伊丹沢
菅野 フサエ	91	関根・松塚
菅野 ハルヨ	90	佐須
高橋 サツキ	90	小宮
高野 操	85	大倉
菅野 富吉	90	上飯樋

ご冥福をお祈り申し上げます



(7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。